

県内男女100人に聞きました（インターネット&FAX&ヒアリング）

ICカードの保有について

財布の中に必ず入っている数々のICカード類。チャージしておけば現金を持っていなくても買物ができるものや、利用する際に提示するとポイントが付くもの、クレジット機能のあるもの、身分証明書の代わりになるものなど、様々なものがありますが、種類や機能が多様で使いこなせていない人もいないのでしょうか。店員から薦められてカードを作ったものの、利用頻度が低いと財布が嵩張るだけになることも。

そこで、今回は、そんなICカード事情について調査しました。

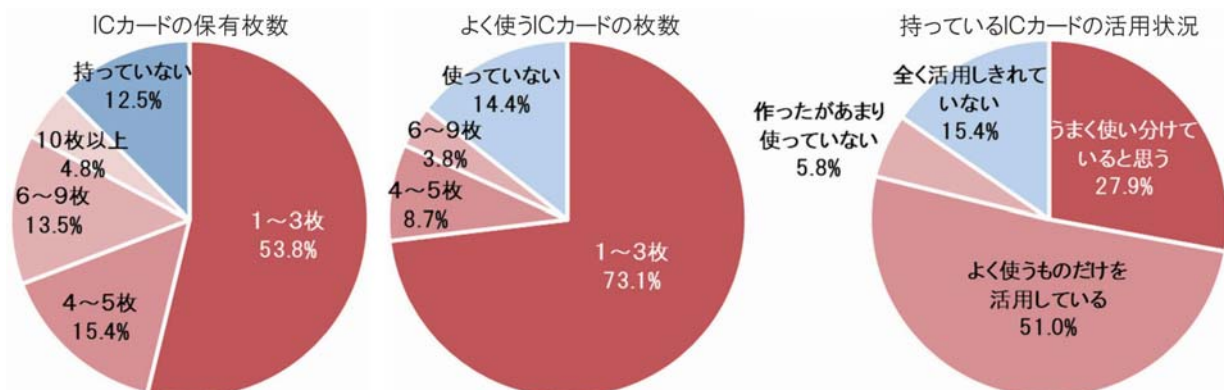
ICカード、普段よく活用しているのは1～3枚

ICカードの保有状況を尋ねたところ、「1～3枚」と答えた人が53.8%、4枚以上持っている人が33.7%でした。

これに対して、よく使っているカードの枚数については、「1～3枚」と答えた人が73.1%、4枚以上使っている人は12.5%でした。

さらに、保有しているICカードを有効に活用できているか尋ねたところ、「うまく使い分けられていると思う」と答えた人が3割弱であるのに対し、約5割の人が「よく使うものだけを活用している」と答えました。

一方、約2割の人が「作ったがあまり使っていない」、「全く活用できていない」と答えました。



調査方法：(有)みかんコミュニケーションズが運営する長崎県内女性ネットワークMONET登録会員を中心に、インターネットとFAX及びヒアリングにより県内在住の男女104名より回答を得ました。

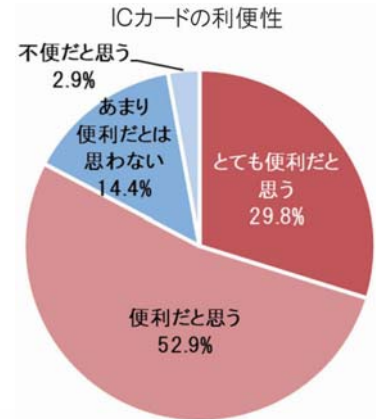
調査期間：2017年9月29日(金)～10月10日(火)

回答者属性：【性別】男性40名、女性64名 【年齢】10～20歳代9名、30～40歳代44名、50～70歳代51名
【居住地】県南地区87名、県北地区3名、県央・島原地区9名、離島地区5名

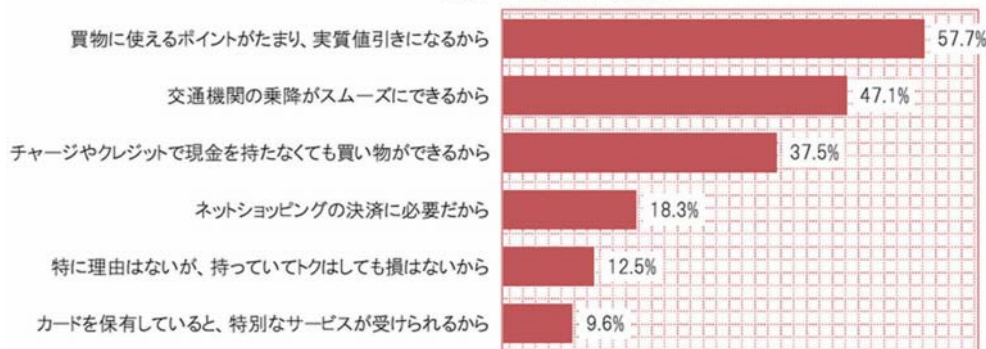
ICカードの魅力はポイント還元

ICカードは便利だと思うか尋ねたところ、8割強の人が便利だと思っていることがわかりました。

さらに、ICカードを保有する理由については、「買物に使えるポイントがたまり、実質値引きになるから」と答えた人が57.7%と最も多く、次いで「交通機関の乗降がスムーズにできるから」が47.1%、「チャージやクレジット機能を利用すれば、現金が手許になくても買い物ができるから」が37.5%でした。



ICカードを保有する理由



長崎発の地域ICカードについて

もし、交通や買い物などに利用できる長崎発の地域ICカードがあれば、使いたいと思うか尋ねたところ、「使ってみたい」が37.5%、「わからない」が26.9%、「そうは思わない」が35.6%となりました。

機能については、「行政機関で発行される書類の手数料や美術館・博物館で利用できれば便利」、「対馬市住民は飛行機やフェリーなどに乗る時、島民カードというのを見せるが、それにICカード機能があればよいと思う」、「子供も含め病院によく行くので、診察券や保険証代わりになり、支払いまで一枚で済むカードがほしい」、「交通機関で使うカードは、全国で統一してくれると大変ありがたいが、そうはいかないと思うので、せめて九州内だけでも共通にしてくれると助かる」、「かわいくて綺麗なデザインで、気分が上がるものが良い。プリペイドだと持ち運びが不安ですが、ポイントだけなら気軽に持てそうです。長崎県民ならお得といった、割引があれば使いたいです」といった地元限定の特典や利便性の高さを求める要望が多く寄せられるなか、「交通、買物、病院等、地域内で1枚で済ませることができるようなICカードがあったら便利だろう。利用履歴は、ビッグデータとして消費者行動の分析に活用されるものと思う。その情報が活用される場合には、個人を特定されないことやプライバシーの保護に配慮してほしい」といった意見もみられました。

